

2024年2月7日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱マテリアル株式会社で「トランジション・リンク・ローン」利子補給型を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一（以下、当行））は、三菱マテリアル株式会社（執行役社長 おの なおき 小野 直樹（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション[®]（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「トランジション・リンク・ローン」利子補給型によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

トランジション・リンク・ローンでは、借り手のトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定して、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、トランジション戦略の実現に対する動機付けを与えることで、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としています。

本ローン実行にあたっては、産業競争力強化法に基づく事業適応計画の認定を受けたため、成果連動型利子補給制度（カーボンニュートラル実現に向けたトランジション推進のための金融支援）が適用されます。また、経済産業省による令和5年度温暖化対策促進事業費補助金に採択されています。

【本ローンの概要】

借入人	三菱マテリアル株式会社
組成金額	200億円
借入日	2024年2月13日
借入期間	7.5年
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所
アレンジャー/ エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
KPI	Scope1とScope2におけるGHG排出量削減率
SPT	Scope1とScope2における2020年度対比GHG排出量の削減目標 ※経済産業省の利子補給制度に基づき、ローン期間中に複数のSPTを設定
ローン特性	SPTを達成した場合には、国からの利子補給により最大0.2%の利下げ

また、本ローンでは、株式会社日本格付研究所より国際資本市場協会「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック（2023）」、金融庁・経済産業省・環境省「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針（2021年5月）」、ローン・マーケット・アソシエーション他「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2023）」、環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022）」への適合性、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

なお、当行は産業競争力強化法における事業適応計画の策定支援を行いました。また、「トランジション・リンク・ファイナンス・フレームワーク」の策定及びセカンド・パーティ・オピニオン取得に係るストラクチャリング・エージェントに三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が就任し、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、MUFG）が一体となって支援しています。

◆トランジション・リンク・ファイナンス・フレームワークについては以下をご参照ください。

https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/sustainability/pdf/transition_finance.pdf

◆セカンド・パーティ・オピニオンの詳細については以下をご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

◆カーボンニュートラル実現に向けたトランジション推進のための金融支援については以下をご参照ください。

https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/cnrishihokyu/index.html

◆令和5年度温暖化対策促進事業費補助金については以下をご参照ください。

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/transition_finance.html

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に65ヶ国以上約800機関が加盟。

以 上